

## パブリックコメントで頂いた御意見に対する考え方について

### 1 意見の募集期間

令和3年3月15日（月）～4月30日（金）

### 2 御意見数

126名 380件

### 3 御意見をいただいた方の属性

#### (1) 年代

	人数	割合
10代以下	8名	6.3%
20代	23名	18.3%
30代	15名	11.9%
40代	22名	17.5%
50代	16名	12.7%
60代	8名	6.3%
70代以上	7名	5.6%
未記入	27名	21.4%
合計	126名	100.0%

#### (2) 住所

	人数	割合
右京区在住	26名	20.6%
右京区内通勤・通学	55名	43.7%
その他	17名	13.5%
未記入	28名	22.2%
合計	126名	100.0%

#### (3) 項目別

大項目	小項目	件数
あなた自身が描く未来について	Q1. あなたの想いや願い	116件
次期計画案の内容について	Q2. 【第1部】右京区が目指す将来ビジョンや、基本計画の役割・特徴	76件
	Q3. 【第2部】実現したい未来を描き、行動・活動するためのプロセスや考え方	62件
	Q4. 【第3部】皆さんの行動や活動をサポートする、区役所等の役割や制度・仕組み	66件
	Q5. 自由記載	60件
合計		380件

#### 4 御意見に対する考え方

今回のパブリックコメント（区民意見募集）につきましては、本計画案に対して、「共感できる」、「支持する」といったお声を多数頂きました。

区民の皆様が主役となり、右京区のまちとくらしに関わっていただくための本計画案ですが、多くの歓迎のお言葉をいただき、親しみや共感をおぼえていただいたことを嬉しく思っております。

基本計画の在り方は一様ではなく、右京区役所と区民の皆様とが一丸となって作り上げるものです。コロナ禍を経て、今、未来の右京区にとって何が必要なのか、もう一度、区民の皆様とゼロベースで考えたいという趣旨から、区民の皆様一人ひとりにとって身近に感じていただけるものとなるよう、本計画案を作成しました。

このため、「行政の基本計画として適切ではない」、「行政の主体性が見えない」といった、厳しい御意見も頂きました。これまでの基本計画を見直し、一部の方だけでなく多くの区民の皆様にお読みいただき、「自分ごと」として感じていただくための、右京区役所の新たな挑戦であると御理解いただければ幸いです。

そして、計画期間の5年間、その成果を的確に分析・評価し、右京区政の推進、更にその先の基本計画の策定につなげてまいります。

##### (1) あなた自身が描く未来について

基本計画を豊かなものにするためにお寄せいただいた、想いや願いを御紹介します。

(件数は代表例を含む。)

将来ビジョン の分類	お寄せいただいた想いや願い（代表例）	件数
「多様性」 を力に変えていく	私は10年後の右京区で、誰もが当たり前意見と言える、助け合えるようなくらしをしたい 私はその実現のために、今、目の前にいる一人一人の声を聞くことをやってみたい	32
	私は10年後の右京区で、山間部、都市部の隔たりなく人と人がつながれるようなくらしをしたい 私はその実現のために、山間部の魅力を伝えることをやってみたい	
	私は10年後の右京区で、生き生きとした先進的なくらしをしていきたい 私はその実現のために、多様性を認め合い、広い視野を持った独自の文化を育みたい	
	私は10年後の右京区で、これからもここに住んでいたいと思えるようなくらしをしたい 私はその実現のために、分野が違う人と人とをつなぐことをやってみたい	
	私は10年後の右京区で、目に見えない右京区の良さについて語り合えるようなくらしをしたい 私はその実現のために、右京区に関係する様々な立場の方々から話を聞く機会を持ちたい	
	私は10年後の右京区で、世代を超えた地域コミュニティがつけられるようなくらしをしたい 私はその実現のために、積極的に地域活動を取り組み全員参加型のイベント、展示などをやってみたい	
	私は10年後の右京区で、文化的にも環境的にも持続可能なまちであることを全国にアピールできるなくらしをしたい 私はその実現のために、世代間交流の場をつくる為、文化的な創造・継承への活動をやってみたい	

将来ビジョン の分類	お寄せいただいた想いや願い（代表例）	件数
「お互いさま」で支え合っていく	<p>私は10年後の右京区で、差別のない社会（ノーマライズな社会）、福祉サービスの充実した社会で暮らしをしたい 私はその実現のために、今活動している民生委員の活動を続けていきたい</p>	29
	<p>私は10年後の右京区で、安心・安全で区民同士が気軽に声かけ出来るようなくらしをしたい 私はその実現のために、近年の自治会離れに歯止めをかけていく事をやってみたい</p>	
	<p>私は10年後の右京区で、身近な人（家族、友人、職場の仲間等）が元気で過ごしているようなくらしをしたい 私はその実現のために、災害に強いまちづくり（防災訓練を増やす、災害のおそろしさを伝える）をやってみたい</p>	
	<p>私は10年後の右京区で、お互いに助け合いながら、それぞれが成長できるくらしをしたい 私はその実現のために、地域に必要なことを学び、子育てや思春期の大変さに寄り添い、まわりの人たちと地域の活性化をしていくことをやってみたい</p>	
	<p>私は10年後の右京区で、ボランティア活動にあちこち、動きまわっているくらしをしたい 私はその実現のために、子どもの看護に関する専門知識をもとに調査研究を行い、子育てや命を育むことへの地域の人々のニーズを明らかにしたい</p>	
	<p>私は10年後の右京区で、これからも人と繋がりに楽しく暮らしたい 私はその実現のために、料理を楽しみ、食事を通して、人と繋がりたい/外国人観光客にも日本の家庭料理を紹介したい</p>	
「くらしにくさ」を伸びしろにする	<p>私は10年後の右京区で、子ども達が伸び伸びと安心して生活している姿を見つめるようなくらしをしたい 私はその実現のために、（小）学校のお手伝いをやってみたい</p>	34
	<p>私は10年後の右京区で、子育てをしながらいきいきと働く（子どもと一緒に習い事をしたりしたい）ようなくらしをしたい 私はその実現のために、子育てについて相談できる人を身近にみつけることをやってみたい</p>	
	<p>私は10年後の右京区で、安心して出歩ける（ペットとも）ようなくらしをしたい 私はその実現のために、歩きやすい町づくりをやってみたい</p>	
	<p>私は10年後の右京区で、誰もが暮らしやすく感じるようなくらしをしたい 私はその実現のために、身体に不自由がある人には自分から声をかける、観光客にも優しく接することをやってみたい</p>	
	<p>私は10年後の右京区で、高齢になっても、子どもがいなくても生活しやすい（買い物、病院、図書館、公共交通）くらしをしたい 私はその実現のために、右京区の自然、四季を楽しむ丁寧な暮らしをやってみたい</p>	
	<p>私は10年後の右京区で、デジタルデバインドのないくらしにしたい 私は、その実現のために、ICTに関する知識やスキルの伝授をしてみたい</p>	
	<p>私は10年後の右京区で、右京区の皆さんが寂しい思いをしないくらしをしたい 私はその実現のために、右京区に住んでいることを誇りに思うよう、歴史や文化を学び、後世に伝える取組をやってみたい</p>	
「やってみよう」を応援する、チャレンジする	<p>私は10年後の右京区で、元気でいたい 私はその実現のために、健康体操とプールを続けたい</p>	21
	<p>私は10年後の右京区で、京都市のモデルになるようなくらしをしたい 私はその実現のために、7日に1度は、行動中に自然を守る事、地球にやさしい事をやってみたい</p>	
	<p>私は10年後の右京区で、食べる、遊ぶ、観るために右京にくるようなくらしをしたい 私はその実現のために、飲食店、レジャー、観光場所の発掘をやってみたい</p>	
	<p>私は10年後の右京区で、何かに取り組みたいと思った時にすぐに仲間を見つけて一緒に進められるようなくらしをしたい 私はその実現のために、人材バンクのような、いろんな人を集めたり、人と人をつなげるような仕事をやってみたい</p>	
	<p>私は10年後の右京区で、常に何かに挑戦できるようなくらしをしたい 私はその実現のために、常に目標や何か壁を持ちたい</p>	
	<p>私は10年後の右京区で、自分のやりたいことを気軽に話せる、誰かのやりたいことを気軽に応援するくらしをしたい 私はその実現のために、やりたいことを気軽に話し合えるような対話の場に参加することをやってみたい</p>	

## (2) 次期計画案の内容について

### ア 【第1部】右京区が目指す将来ビジョンや、基本計画の役割・特徴

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
<p>【全体に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 分かりやすい言葉で堅苦しくない基本計画であり、多くの区民に手に取ってもらえるものである。キャッチフレーズがあれば、より親しみやすい。</li><li>・ 文字数を少なくし、図解で示すなど、分かりやすくしてほしい。</li><li>・ 行政の理想や施策だけを記載したものではなく、区民との双方向性を持った基本計画である。</li><li>・ 行政の誘導ではなく、区民自ら考え行動するという着眼点がよい。行政が施策を列挙する基本計画が多い中、新鮮で共感できる。</li><li>・ 同じようなことを書いている区基本計画が多い中、京都市基本計画との役割分担がはっきりしていてよい。</li><li>・ 誰もが自分ひとりだけでは生きていけないと再認識するきっかけになる。自分自身も社会の未来に関わっている一員だと実感できる。</li><li>・ 社会に対して「自分ごと」として関わる方法が具体的に書かれている。</li></ul> <p style="text-align: right;">など</p>	15	<p>本計画案では、多くの区民の皆様 に手に取っていただき、お読みいた だくため、平易な文言、語りかける ような文体を使用するよう努めま した。より親しみやすいものとなる よう、紙面構成やキャッチフレーズ を更に工夫してまいります。</p> <p>また、従来の基本計画の構成を見 直し、今後の行政の施策の列記はし ておりません。</p> <p>本計画案でもお示したように、 右京区で暮らす区民の皆様一人ひ とりに、幸せな未来を思い描いてい ただき、これからの行動や活動が豊 かになることで、右京区のまちやく らしがもっとよくなる—そんな未 来の実現を目指して構成していま す。</p>

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
<p>【右京区の将来ビジョンに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区民共通の理念であり、それが可視化されていてよい。</li> <li>・ 区民が助け合うことで実現できるものであり、とても前向きな気持ちになる。区民が主体的に考え、自分たちが未来をつくっていく意識が生まれる基本計画である。</li> <li>・ 「「くらしにくさ」を伸びしろにする」という発想がよい。昔ながらの温かさを大切に、楽しみながらみんなで解決していくことが、素敵なまちにつながる。</li> <li>・ 「くらしにくさを楽しむ」という表現に違和感がある。</li> <li>・ 「「多様性」を力に変えていく」という表現が印象深い。多様性を拒絶しないことが大事である。</li> <li>・ 「「お互いさま」で支え合っていく」ということは、多くの人が心の内では思っていることであり、より広がればよい。多世代がゆるやかに長くつながるまちが培われる。</li> <li>・ 将来ビジョンの文章として「そうした先に」はおかしい。</li> <li>・ 「わたし」と「わたしたち」という表現が分かりにくい。</li> <li>・ 時間的・経済的・社会的に苦しんでいるときにもつながりを持てるよう、行政がコーディネート役をできたらよい。</li> <li>・ 「お互いさま」をできる環境にないので、人と人がつながるにはどうすればよいのか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	24	<p>右京区の将来ビジョンにつきましては、これまで7回に渡り開催した「右京かがやきミライ会議（以下、「ミライ会議」という。）参加者の皆様の想いや、様々な分野で活動されている区民の皆様へのインタビュー、それらを踏まえた次期京都市右京区基本計画編集会議（以下、「編集会議」という。）での審議を土台とし、手に取っていただいた多くの区民の皆様のご共感を得られるよう、取りまとめました。</p> <p>文章表現上分かりにくいと御指摘のあった、「くらしにくさを楽しむ」や、「そうした先に」等の構文につきましては、分かりやすいものとなるよう改めてまいります。</p> <p>また、「わたし」と「わたしたち」の表現が曖昧との御指摘に対しましては、使い方を見直すとともに、考え方を第2部で詳述してまいります。</p> <p>なお、第3部におきまして、「誰もが気軽に立ち寄れる場」の創設を記載しており、人と人をつなぐことを目的の一つとしていることを、広く周知してまいります。</p>

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
<p>【基本計画の役割、特徴に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題や施策が列挙された基本計画が多い中、これまでにない特徴的なものであり、成果が期待できる。</li> <li>・ 行政の押し付けではなく、「わたし」を主語にした基本計画であり、新鮮で親近感が持てる。</li> <li>・ 行政になんでもやってもらうのではなく、まずは自分で考え行動する、そういう人が増えればまちはよくなる。「わたし」を主語にすることで、実情に沿った課題解決策を考えられる。</li> <li>・ 区民の意識が大切で、区役所だけでは人と人をつなげられない。</li> <li>・ 「わたし」が主語であることは重要であるが、行政の役割が見えない。</li> <li>・ 「わたし」が主語なのはよいが、まちづくりに参加できるひとは限られている。様々な状況の人も未来像を描けるよう、聞き取る姿勢が必要である。</li> <li>・ 「わたし」のくらしやすさと「わたしたち」のくらしやすさを結び付けるのは難しい。</li> <li>・ 「世界文化自由都市宣言」への言及がない。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	21	<p>コロナ禍や京都市の深刻な財政危機等により、従来の「当たり前」が「当たり前」でなくなる時代が到来しました。</p> <p>右京区のまちづくりのためには、これから何が必要なのか、区民の皆様と、もう一度根本から考え、議論していくことが必要であると考えます。</p> <p>このため、本計画案は、ひとりでも多くの区民の皆様が、まちと向き合っていただくための手引きのようにつくりとしています。</p> <p>まちの未来を思い描き、その実現のために「わたし」に果たすことができる役割に気づき、行動を始める。そんな区民の皆様一人ひとりの行動を支えとともに、皆様の想いを受け止め、未来の実現のため必要な施策を企画・実行していく役割と責任が、京都市や右京区役所にはあります。御意見を踏まえ、第3部の記載をより詳細にいたします。</p> <p>また、あらゆる政策の最上位の都市理念である「世界文化自由都市宣言」につきましては、位置付けを記載してまいります。</p>

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• いつどんな災害が起こっても対応できる心構えを持った右京区になってほしい。</li> <li>• 安心安全はもとより，若い人が住んでみたいと思えるまちにしたい。</li> <li>• 近隣区と連携すべき。</li> <li>• 右京区の北部山間地から南部まで，広く活気のある右京区にするために，京都市民，右京区民，京都市，右京区役所と一緒に頑張ってもらいたい。</li> <li>• これからの子どもたちが右京区に愛着を持ち，これからも住み続けたいと思うようなサポートをしてほしい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	16	<p>その他，多くの御意見をお寄せいただきました。編集会議での審議の際に参考とさせていただきます。</p>

イ 【第2部】実現したい未来を描き，行動・活動していくためのプロセスや考え方

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
<p>【全体に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分が「何を，どのように考え，行動を起こすのか」ということにまで踏み込んだおもしろい基本計画である。プロセスがよくまとまっていて分かりやすい。</li> <li>• SDGs は見聞きする機会はあるけれども他人事に捉えがち。自分ごとにすることで見えてくるものがあるので，効率的な課題解決のプロセスになっている。</li> <li>• ミライ会議の様子がよく分かる。</li> <li>• 「やりたいことをやる」のではなく「なりたい状態になる」ことが目的。手段と目的を見誤らないことが大切。</li> <li>• 一人ひとりが右京区の理想について考えることが基本計画の第一歩だと思うが，多くの方が基本計画を読むのか心配だ。</li> <li>• 書かれ方が固く，内容が分かりにくかった。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	12	<p>第2部では，将来どんなまちになってほしいか，そこでどんな暮らしをしていきたいかを考えるプロセスをお示ししています。</p> <p>未来の実現に向かって何をすべきか，また，何ができるのかを考え次のステップに向かっていただくため，ミライ会議の事例を交えながら記載しました。</p> <p>また，基本計画を多くの方にお読みいただけるような紙面づくりと，効果的な広報に取り組んでまいります。</p>

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
<p>【「まちを知る」に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「くらしの変化をデータで見る」のは大変おもしろい。生活の中でなんとなく感じていることを具体的に知ることができる。まちに関心を持ち、まちを調べ、まちの情報を気に掛けることから始めたい。</li> <li>・ データを見る意義に疑問。推測に過ぎないこともあり、そこに時間を割く必要はないのでは。</li> <li>・ 自分たちのくらしや経験を振り返ることは、生活を豊かにするための重要なプロセスだと感じた。</li> <li>・ ミライ会議での議論の内容を基本計画に活かすことは、徹底した市民目線でよい。そこから区役所に期待されていることを受け止めてほしい。</li> <li>・ 未来を描くためには対話が必要不可欠だ。コロナ禍で人と人とのつながりが薄れる中、どのように対話の場をつくるのが課題だ。</li> <li>・ ミライ会議のような場を、区民が自主的に開催するための支援が必要だ。</li> <li>・ 地域で集まる機会はない。誰がどうやって集まりをつくっていくのか具体的に思い付かない。</li> <li>・ ミライ会議をはじめ、地域活動に熱心な方にはよいプロセスだが、生活に追われている中ではまちづくりにまで頭が回らない。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	21	<p>未来のまちについて考える前に、まちの今とこれまでを知ることが重要です。そのためのポイントとして、「身近なくらしを振り返る」、「くらしの変化をデータで見る」、「今起きている大きな潮流の変化に目を向ける」、「生活・くらし目線で整理する」を位置付けました。</p> <p>4つのポイントを組み合わせることにより、主観・客観両方の目でまちやくらしの現状を知ることができるため、データを見ることも重要であると考えております。</p> <p>そして、これらを実行する場として、ミライ会議を開催してきました。参加された方の中には、ミライ会議をモデルに、地域で対話の場を開かれた方もおられます。このような場づくりを支援してまいります。</p> <p>また、継続的に区民の皆様の気付きと行動を促し、また、右京区役所が区民の皆様の想いを受け止めていく場として、ミライ会議は令和3年度から「右京コトハジメテラス」と改称して引き続き開催しており、新型コロナウイルス感染症の状況に応じてオンラインを活用しています。</p> <p>なお、第3部におきまして、「誰もが気軽に立ち寄れる場」の創設を記載しています。</p>



御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
<p>【「まちやくらしの未来を描く」に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バックキャストイングを取り入れているのは斬新。今後のまちづくり施策でも意識してほしい。</li> <li>一人ひとりが主体であることを認識し、大きな目標を示したうえでスモールステップを考えることで、具体的なイメージが浮かびやすい。</li> <li>小さなことでも「これならできるかもしれない」という気付きや第一歩が大切だ。</li> <li>「こういうまちがよいな」という思いはあるが、「自分ごと」にするのはとても難しく、考えさせられた。</li> </ul> <p>など</p>	12	<p>本計画案では、今あるもの、ないものに捉われず、「こうありたい」という理想の未来を思い描き、その未来を引き寄せるために今必要なアクションを考える「未来からの逆算（バックキャストイング）」を採用しています。</p> <p>ひとまず実現が容易か困難かを考えることを棚上げし、自分が本当に「こうありたい」と思い願うものをイメージすることが、より大きな視点から未来を描けると考えています。</p>
<p>【「アクションを起こす」に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>右京区には人と交流する場がたくさんあるので、はじめの一步を踏み出すきっかけや勇気をもらえる。</li> <li>アクションの手順が分かりやすい。自分でも何かできるかもしれないと思える内容である。</li> <li>アクションを考える方法について、理想を思い描いてから現在の自分に足りないものを考え、はじめの一步を踏み出させる構成は、大変分かりやすくおもしろい。</li> <li>地球環境問題に関心があるので、自分にとってのはじめの一步は「ごみの削減」になりそうだ。</li> <li>誰かへの相談や仲間探し、活動への参加となるとハードルが高く、個人でできることの事例を紹介してほしい。</li> </ul> <p>など</p>	9	<p>第2部では、バックキャストイングで理想の未来を思い描く際に活用できる、記入シートをイメージしてデザインしました。</p> <p>また、第3部では、「誰もが気軽に立ち寄れる場」や「未来を語り合う対話の場」の創設を記載しており、行動や活動のつながりづくりを目的の一つとしています。</p>

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都市の財政危機を、市民・区民の手で乗り越えるべく公共交通利用を促進するとともに、二酸化炭素を排出しないために京都市の目標達成に協力し、明るい右京の未来を切り開きたい。</li> <li>・ コロナ禍でもたらされた社会の分断がこれ以上広がらないよう、一人ひとりが、人を思いやる気持ちをこれまで以上に大切にすべきだ。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	8	<p>その他、多くの御意見をお寄せいただきました。編集会議での審議の際に参考とさせていただきます。</p>

ウ 【第3部】皆さんの行動や活動をサポートする、区役所等の役割や制度・仕組み

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
<p>【全体に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人ひとりが、何か少しでも行動に移してほしいという想いが伝わってきた。</li> <li>・ オンラインでの場づくりを充実するべきだ。</li> <li>・ コロナ禍で人と人の距離が離れている中、場づくりは大変だと思うががんばってほしい。</li> <li>・ 区役所の制度に関心を持っていない。自分に何かやりたいことができたとき、調べるかもしれない。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	12	<p>第3部では、区民の皆様がイメージを整理して、行動や活動を起こすことを後押しし、それらをつないでいくことを区役所等の重要な役割であると位置付けています。</p> <p>コロナ禍での場の創設のため、必要に応じてオンラインを活用することを考えています。</p> <p>また、まずは「誰もが気軽に立ち寄れる場」へ御参加いただけるよう、広く呼び掛けてまいります。</p>

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
<p>【区役所等の役割に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出会う場やつなぐ場をつくることは、担い手を増やすのに効果的だ。</li> <li>・ 区民がやりたいことを区役所がサポートするだけでなく、区役所から企業、団体や区民に協力を呼び掛けるべきだ。</li> <li>・ 区役所が区民をつなげたり支えたりすることは大切だが、課題に対して協力してくれる区民を探すアクションをしてほしい。</li> <li>・ 財政難なので、区役所のサポートは減らさざるを得ないので、区民が自主的に活動するのがよい。</li> <li>・ まちづくり活動は、余裕のある人だけのものではあってはならない。どのような人でも未来を考えられる場づくりを意識してほしい。</li> <li>・ 職員一人ひとりが地域から持ち帰った区民の想いに、組織としてどう対応するのか。区役所と区民のコミュニケーションの在り方を見直すべきだ。</li> <li>・ 区民に行動や活動を促すのなら、区役所も成長してほしい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<p style="text-align: center;">14</p>	<p>区民の皆様様の行動や活動を後押しし、つないでいくことを、区役所の役割として位置付けており、ひいては、「誰かの実現したい未来を応援する人たち」が創出されることを理想としています。そういった方々がネットワーク化されることで、まちとくらしがよくなるものと考えています。御指摘の趣旨を踏まえて、計画の推進に努めてまいります。</p> <p>また、まちづくり活動への参加に制約のある方でも取り組んでいただけるよう、制度、仕組みの説明を補足してまいります。</p> <p>区役所と区民の皆様がコミュニケーションを図り、信頼関係を構築するためには、職員力の向上が欠かせません。区役所・職員の成長について記載してまいります。</p>

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
<p>【区役所等が運営する制度・仕組みに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な場をもっと増やしていけばよい。</li> <li>・ 気軽に話せる場をつくってほしい。</li> <li>・ 届出関係以外で区役所を利用する機会はないが、このような場があるのなら参加したい。</li> <li>・ 区民には、自分たちの手で住みよい環境を作りたいという潜在意識がある。それを対話で掘り起こす場があることを、広く知られたらよい。</li> <li>・ 人とつながれる場の提供こそが区役所の役目だ。</li> <li>・ 場には、中高生、大学生をはじめ幅広い年代の方や、外国人にも参加してもらうことが大切だ。</li> <li>・ 人とつながれる場を設け、そこで交わされた意見を吸い上げ区役所の内外にフィードバックすることが、区役所の役割だ。</li> <li>・ 今まで声をあげる機会がなかった重度の障害のある方などが「わたし」や「わたしたち」として意見を言えるようになれば、よりよいまちになる。</li> <li>・ 自助共助が大事だが、日々の生活で手の回らない中で、まちに関わる人の裾野を広げるにはどうすればよいか、永遠かつ喫緊の課題である。</li> <li>・ 何かを始めている人たちをお手伝いして、小さな成功体験を味わう仕組みがあれば、活動の輪が広がる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	27	<p>「区民の皆様がまちづくりについて語り合う場」として、これまでから、「MACHI KOカフェ」を開催してきました。更に気軽に参加できるように工夫し、「誰もが気軽に立ち寄れる場」となるよう努めてまいります。</p> <p>また、「未来を語り合う対話の場」として、ミライ会議を開催してまいりましたが、その中から具体的な行動や活動が生まれています。令和3年度以降も、「右京コトハジメテラス」と改称し、継続してまいります。</p> <p>「想いをつなげる場」については「右京区まちづくり区民会議」を開催し、様々な行動や活動に取り組んでいる団体・個人が交流しています。</p> <p>これらの場を通じて、あらゆる区民の皆様が対話することで、つながりができるものと考えています。同時に、区役所としましても、区民の皆様の想いや願いをお聞きし、行動や活動の支援するとともに、必要な施策の企画・実行に努めてまいります。</p>
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口や交流人口を増やすためにできることをしてほしい。</li> <li>・ 子育て支援を行い、若者にやさしいまちづくりを進めてほしい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	13	<p>その他、多くの御意見をお寄せいただきました。編集会議での審議の際に参考とさせていただきます。</p>

## エ 自由記載

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
<p>【パブリックコメントの実施に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親しみやすい冊子だった。</li> <li>・ 分かりやすくまとめられていて、とても読みやすかった。</li> <li>・ 低年齢の方が見るのにも分かりやすいものだった。</li> <li>・ 身近な環境を意識することが大切だということが分かる構成だ。</li> <li>・ たくさんの想いや願いがあるほど、右京区がよくなっていくと思う。</li> <li>・ 自分が何も考えずに生活していることを再認識する機会となった。</li> <li>・ 情報化によるものだと思っていたストレスは、人の気持ちの持ち様の問題であると思直した。</li> <li>・ 「わたし」を主語にすることは新鮮だったが、広い右京区で「わたしたち」がどのように形成されるのか想像がつかない。</li> <li>・ 全体的に文章が読みにくい。</li> <li>・ 文字が多く、強調点が目に入ってこない。いかにも行政の計画らしい見た目だ。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	27	<p>本計画案では、多くの区民の皆様 に手に取っていただき、お読みい た だ く た め、平易な文言、語りかける よ うな文体を使用するよう努めま し た。基本計画では、より親しみや す く 分 か り や す い ものとなるよう、 紙面構成やキャッチフレーズを検 討するとともに、文章表現を検討し てまいります。</p>

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
<p>【現状に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>右京区に特に不満はなく、環境も治安も利便性もそこそこ優れている。</li> <li>区役所の様々な取組に元気をいただいている。</li> <li>右京区には、地下鉄、嵐電、スポーツ施設や世界的な観光地もあり、他区民にとっては羨ましい限りだ。</li> <li>右京区で、親だけでなく地域の方に見守られて育った。子育て世代や高齢者にとって、地域力は健康的な生活に欠かせない。</li> <li>観光地ばかりがバリアフリーになっていくが、住宅街や駅ではバリアフリー化が進んでいない。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	19	<p>右京区は、豊かな自然に恵まれた環境であり、水尾の柚子や宕陰の棚田などでは特徴ある農業が営まれている一方、南部では、先端産業や中小企業が集積する工業地域が形成されるなど、特色ある行政区です。更には、風光明媚な景観、伝統芸能や多数の世界文化遺産や国宝が存在するなど、歴史と文化が息づくまちでもあります。</p> <p>これらの魅力を更に向上させるとともに、区民の皆様の御意見を受け止め、くらしやすいまちとなるよう、施策の企画・実行にも取り組んでまいります。</p>
<p>【右京区の将来像に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆったりとした環境の右京区になってほしい。</li> <li>少子高齢化が進む中、また、コロナ禍で明るい話題が少ない中、希望が見えるまちであることを期待している。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	4	<p>「Q1 あなたの想いや願い」に加えて、未来像をお寄せいただきましたので、御紹介します。</p>
<p>【政策提案に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商店街が活気づくともちも活気づく。</li> <li>太秦天神川付近は交通の便がいいので、右京区や京都市の発展に寄与する繁華街にしてほしい。</li> <li>一人ひとりがまちの力になっていることを自覚し、評価できる仕組みがあれば、行動の継続につながる。</li> <li>学校教育だけでなく、生きていくうえで必要な、お金のことや性のことを学べる教育を充実してほしい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	10	<p>その他、多くの御意見をお寄せいただきました。編集会議での審議の際に参考とさせていただきました。</p>